同　二五
同　二〇
同　一五
同　一〇

ム例ヘハ第一項ノ
坪ナルトキハ二ヲ
ヲ以一ヲ乗シ五十
ノ等級ニ照シ一等
シ地位下リヲ九等
ス課金一個一錢ナ
一圓五十錢ニ該ル

キ建物左ノ如シ
有建物
建物

（第二條ヲ除ク）
面ヲ差出サセ建物
年度ハ七月一日迄
届出サセ之ヲ更正
増減變換ナキ分ハ
（以下次號）

南本所東町ヲ小梅
知事松田道之

備置タル公証割印
付右戸長ノ公証ヲ
該村戸長役場ヘ可
公証セシムヘキ旨

知事松田道之

通リ相定候條本年
別冊略ス）
軍卿大山　巖

達乙第四十五號ヲ
達候事
軍卿大山　巖

條此旨相達候事
當該ノ主司ニ交付

ノ儀布告案第一讀

田多十　細山嘉吉
島嘉六　鳥澤利藏
磯岩吉　高橋金藏
杏次郎　井出藤四郎
佐一郎　竹田岩松
秀次郎　鳴神八太郎

糸本勝藏　大地庄吉　中尾梶之助　貴志寅之助　浅井信親
石野才次郎　小藪松之助　井上吉松　山谷甚五郎　藤田長吉
今井丑松　山田佐吉　岡　鹿藏　堀川常松　千本種之助
陸軍兵卒服役中鹿兒島逆徒征討ニ際シ盡力其功不少候ニ
付勳八等ニ叙シ白色桐葉章下賜候事

時事新報

日本銀行條例

我政府ハ像テ世上ニ噂シテ中央銀行ト稱シタル一種特別ノ新大銀行タル日本銀行ノ條例ヲ一昨二十七日ヲ以テ布告セラレ昨今兩日我新報紙上官令欄内ニ登錄シタレハ讀者就テ之ヲ見ラル可シ

我國現今ノ有樣ニ於テハ斯ル大銀行ノ設立ニ由テ全國ノ理財ニ一大變動ヲ生シ農工商業上ニ影響スル所決ノ少小ナラサルヲ以テ世人ハ久シク其銀行設立ノ目的、其性質、其營業ノ事務等ヲ聞知センコトヲ希望ノ措クヿ能ハサリシナリ我輩今此條例ヲ一讀スルニ至テ稍其仕組ト營業ノ有樣トヲ推知シ得タルモ其設立ノ目的ニ至テハ一切之ヲ知ル可ラズ或ハ現今無數ノ小銀行全國ニ散在シ之ヲ統轄スルノ大銀行ナキヲ憂ヘタル故カ東京ニ千七百万圓ノ資本ヲ有スル第十五國立銀行ナル者アリ之ヲ以テ此中央銀行タラシムルヿ容易ナル可シ或ハ十五銀行ハ普通ノ國立銀行ニシテ政府ノ關係厚カラズ且ツ同性質ノ銀行ヲ以テ他ノ同性質ノ兼銀行ヲ統轄シ或ハ其舊來ノ弊ヲモ改メシメントスルニハ適當ナラズトセンカ幸ニシテ横濱正金銀行ナル者アリ政府ノ關係ノ密ナルヿ他ニ比類ス可キモノナク殆ンド半官半民ノ大銀行ト云フ可キモノナリ或ハ此正金銀行ヲ今日ノ儘ニ使用シ或ハ今日ノ儘ニテ不適當ノ廉アラハ十分ニ之ヲ改革シ此中央銀行タラシムルヿ亦容易ナル可シ然ルニ政府ノ擧此ニ出ヲス新ニ一大銀行ヲ設立スルノ勞ヲ厭ハサルヲ見レハ其目的ノ在ル所蓋シ前記我輩ガ臆測スル所ノ外ナル可シ依テ日本銀行設立ノ目的ハ到底我輩ノ知ルヿ能ハサルモノトシテ之ヲ闡キ我輩ハ單ニ此條例ニ就テ推知シタル日本銀行ノ仕組ト其營業ノ有樣トヲ左ニ開列シ讀者ノ參考ニ供セント欲スルナリ

日本銀行條例通計廿五條ノ内（第一條）ニハ銀行ノ責任ハ有限ニシテ負債辨償ノ爲メ株主ノ負擔ス可キ義務ハ株金ニ止マルトアリ尚其他ノ條ヲモ參照スルニ此銀行ハ普通ノ有限責任合資會社タルノ性質ヲ具ヘタルモノト知ルナリ（第二條）ニハ此銀行ハ本店ヲ東京ニ置ク可シ大藏卿ノ許可ヲ得ルニ於テハ各府縣ノ首邑其他要用ナル地方ニ支店出張所ヲ設置シ又ハ他ノ銀行ト「コルレスポンデンス」ヲ締約スルヿヲ得トアルヲ以テ本店ヲ東京ニ據ヘ支店出張所ヲ各地方ニ設置スト知ルナリ然ルニ此條ニ於テ許シタル限リノ場所ニ支店出張所ヲ設ケントスルトキハ二箇月四十四縣ノ廳下其他要用ノ地方例ヘハ下ノ圖、四日市、敦賀、石ノ巻等商業上要衝ノ地ヲ擇ビ支店出張所ヲ置クヿナラント雖ドモ斯タテハ餘リニ支店出張所ノ數多ク其費用ニ堪エサル可シ我輩ノ考ニテ目下全國中支店ノ設置ヲ要ス可キ歟ト指テ屈スルハ五六個所ニ過キス其他ハ總テ他ノ信用ス可キ在來ノ諸銀行ト「コルレスポンデンス」ヲ約スル位ニテ十分ナル可シ又此條中ニ就テ不審ナル一事ハ外國ニ支店等ヲ設置スルノ文字ナキヿ是ナリ我國ノ外國貿易ハ一箇年六千万圓以上ニシテ尚年ニ月ニ増進ス可キハ疑ヲ容レス此貿易ヲ維持運行セントスルニハ銀行、瀛帆船會社、保險會社等所謂外國貿易ノ器械ナル者備ハラザル可ラズ而シテ就中銀行ハ其用最モ廣ク其功最モ大ニシテ必須欠ク可ラサルモノナリ今若シ此日本銀行ニシテ一臂ヲ仮シテ我貿易ヲ助成セントスルカ必スヤ支店出張所ヲ倫敦、巴里、里昂、紐育、上海等ニ設ケ其他要用ノ地方ニハ在來ノ外國銀行ト「コレルスポンデンス」ヲ締約シ我貿易商ニ與ルニ十分ノ便利ヲ以テシ飽マテ之ヲ奬勵シ措カス全國富强ノ基ヲ固クセントコソス可キニ我輩之ヲ條例中ニ見ザルハ不審ニ堪エス或ハ此第二條中ニ外國ニ支店出張所ヲ設置スルノ意味ヲモ含蓄シタルモノナルヤモ知ル可ラズ唯我輩ノ眼ヲ以テ之ヲ見出スヿ能ハザルノミ（第三條）ニハ營業年限ハ開業ノ日ヨリ滿三十年トシ株主總會ノ決議ニ據リ營業ノ延期ヲ請願スルヿヲ得トアリ別ニ所見ナシ（第四條）ニハ資本金ハ一千万圓ニテ五万株ニ分チ一株二百圓トス但シ株主總會ノ決議ニ依リ資本金ノ増加ヲ請願スルヿヲ得トアリ資本金ハ漸次増加ノ傾アリト思ハルヽナリ（第五條）ニハ株券ハ記名券ニシテ日本人ノ外賣買讓與スルヲ許サストアリ外國人ハ株主タルヿヲ得サルモノト知ルナリ（第六條）ニハ此銀行ノ株主トナラントスルモノハ大藏卿ノ許可ヲ受ク可シトアリ此一條ハ其精神ノ何レニ在ルヲ知ラズト雖ドモ有限責任合資會社ノ株主ト爲ルニ大藏卿ノ許可ヲ要スト云フハ直接ニ其理由ヲ知ルニ苦シムナリ或ハ株主ノ責任無限ノモノニシテ負債辨償ノ爲メニハ銘々ノ身代限リ出金ス可キ會社ナランニハ株主ノ責任甚タ重ク世間ノ信用ニ大關係ヲ有スルモソユヱ株主タル者ノ身元ヲ糺シ猥リニ株券ヲ所持セシメサルヿ甚タ當然ナリト雖ドモ既ニ其責任ハ有限ニシテ負擔ス可キ義務ハ其株金ニ止マルモノ也スルトキハ何人ヲシテ株主タラシムルモ實際ノ差支ハナキ筈ナリ　（未完）

雜報

○行幸　前號に記載せし吹上禁苑に於て陸軍諸兵の操練及綱引い意々今二十九日行はるに付　天皇在らせらる旨昨日仰出され又來月三日い午前九時三十分御出門ゑて向ケ岡にて行ム華族の春季射的會へ行幸遊さる筈聞く仰出されたり但し雨日とも雨天なとパ御取繰遊ばさると